

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:2024年 3月 26日

事業所名:りんく泉崎教室

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	4		遊びと学習の場所を分けている	遊びと学習が混雑する所上手く調整していく
	2	職員の配置数は適切である	6			体調不良などの休みがあっても、回るように日々考えている	出勤している職員同士で声を掛け合いながらスムーズに活動を促せるよう努めていく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3		3		子ども達が過ごしやすいよう環境構成を行い配慮していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	1		職員のコミュニケーションを深めて、共通理解や振り返りに努めている	感じた事や改善したい事、聞きたい事、困っている事など声に出しあい今後も改善に努めていく。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2			保護者様・職員を元に今後もより良い運営に努める。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	2			公開している事を知らない職員もいるので、ホームページ更新がある場合には共有していく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4			
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			各種研修に受講できる職員はどんどん推薦している	今後も研修受講を推奨していく
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	3	1	定期的に保護者面談を行い振り返りを行っている	今後も定期面談は続けていく
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1		全職員で使用できるツールを開発、使用する
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		1		全職員が立案できるようなシステムを構築していく
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6				今後も全職員で工夫し、様々な経験を提供していく
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6				今に満足せず改善に努めていく
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	2			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6				前日には共有し役割分担を行っているが、今後もより良くしてけるようにする。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		3	重要事項があれば共有している	送迎で全職員が揃うわけではないので、何かあればチャットを活用していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	1		研修・会議での記録やお便り帳にある記録を元に振り返りや検討を今後も行っていく
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4		2	研修時に共有している	全職員が分かりやすいような計画を今後も心掛けていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	4			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				今後も参加した情報は速やかに職員に共有していく。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6				保護者様の協力や、学校との連携を今後も意識してより強固にしていく。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	3			今後も受け入れの予定はないが、職員の意識向上は研修を通じて行っていく。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2				より良い支援が継続できるように、今後も情報共有・収集を行っていく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	4	1			現在対象児童がいないが、そこをイメージして今後も支援をする。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		6				
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1		5			地域イベントへの参加、提案を今後検討していく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		1	5			地域イベントへの参加、提案を今後検討していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				日頃の様子を写真や動画で共有している	保護者様からの信頼を得られるよう今後もより丁寧に対応していく。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	3			保護者様から信頼を得られるよう、今後も資質向上に努め、有益な情報を届けてい供養にする。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		1	入所時保護者様の不安を軽減できるよう、丁寧に行っている		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6					
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	1			保護者様同士の交流の機会をどのような開催し、有意義な物にできるのか検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6					
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	1				
	35	個人情報に十分注意している	6					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3			地域イベントへの参加、提案を今後検討していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	1	4	より周知しやすい資料の作成に努める
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	1	2	3	様々な災害や緊急時に対応できる職員の意識をより向上していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	2		職員からも意見を貰い今後もより良い対応をしていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		5	1	身体拘束を行う機会が無い
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		入所時に保護者様よりアレルギー内容は聞き、飲食時には個別対応を行っている。今後もその意識を高めていく
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	3		職員の意識をより高め、全教室で共有していく。